



学塾通信 5月号 (第161回)

4月29日(水・祝)・5月4日(月・祝)・5日(火・祝)・6日(水・祝)は祝日開校日です。

学習塾で子どもたちの学習指導をして25年目になります。

「毎年同じことの繰り返しでもう慣れたものでしょう。」周りの方からそう言われることがあります。軽く受け答えをする程度で、それ以上のことは言わないのですが、毎年同じことの繰り返しではないため慣れることもありません。そもそも毎年同じ生徒ではありません。卒業する講師や新しく学塾の指導に加わってくださる先生もいるため、年ごとのカラーに合わせて取り組むことを変えています。指導者側の意識や取り組み方によって、1年の結果が大きく変わることは経験上理解していますし、慣れてはいけないうことと自分自身を戒めています。14期生の指導についても彼らの現状を見て方針を考えていく予定です。

さて、14期生の受験勉強がスタートしてはや2ヶ月。保護者のみなさま、ご自宅での様子はいかがでしょう。13期生の受験が終わり、春期講習会を通してじっくりと受験生一人ひとりの様子を見ていました。「無理をせず、マイペースな子が多い学年」というのが今の印象です。

春休みの間に自主学習に来る中学3年生は残念ながらほぼいませんでした。中学受験生・中学1年生・2年生の方が自主学習の頻度が高かったです。3年生のみなさんにはここから巻き返して欲しいです。「無理をせずにマイペースな子が多い」としても「できるようになりたい」という気持ちがあることはわかります。ただ、勉強が苦手という気持ちで躊躇している人、まだ4月だから何とかかなるという気持ちで楽観視している人、今も十分頑張っていると実力を客観視できていない人、部活が忙しい人など行動に移すことができていない理由は様々のようです。

理由はあれども、自主学習の量が圧倒的に足りないから定着していません。これは塾の授業数を増やして対応することではありません。根本が理解できていないのであれば、授業で指導をする必要があります。しかし、基本的な知識はあるが問題を解く経験不足が課題になっている現状を考えると必要なのは自主学習です。

では、自主学習を習慣化するにはどうすれば良いのでしょうか。

そこで『学習の仕組み化』を提案します。

『仕組み化』を簡単にいうと、毎週のスケジュールに組み込むことです。例えば、学校の帰りに30分自習をすると決めるように、毎日欠かさず取り組むこと(ここでは通学)に自主学習の時間を加えることが『仕組み化』です。これにより、気持ちに左右されずに学習時間を確保できます。

ポイントは「ものすごく簡単なことから始める」です。

最初は簡単に解くことができるレベルまで落として始めてみると良いでしょう。簡単なことから始め、だんだんとレベルを上げていくことで、難しく思っていたことを仕組み化できます。

また、気持ちのスイッチを切り替えるきっかけになるものを見つけるのも良いでしょう。好きな音楽・動画など、これに触れることで「よし、頑張ろう!」と思えるものを探してみてください。



○保護者面談について(随時受け付けています。)

面談を希望される方はアプリから連絡をお願いします。日程調整をします。

○入試情報等について

各学校から届いた案内や入試に関する情報は、学塾の X(Twitter)にて配信しています。

○教室への連絡について

遅刻・欠席に関する連絡はアプリから「塾長送信可」宛に送ってください。
スタッフ宛に送信すると確認が遅くなります。

○欠席連絡について

欠席連絡は保護者様からご連絡をいただきますよう、よろしくお願いいたします。
数年前に保護者様には塾に行く伝えて、塾には欠席連絡をいれたあと、当の本人は違う場所に行っていたということがありました。この件については、後日判明したので指導をすることができましたが、この他にも本当に家の用事で欠席なのかと疑わしいことも数回ありました。
お手数をおかけして恐縮ですが、一つひとつ確認することができないため欠席連絡については保護者様からご連絡をいただくようお願いいたします。

○塾代助成の御礼について

塾代助成事業がデジタルクーポンとなり、登録開始初日の4月1日にサイトを確認したところ学塾の名前が見当たりませんでした。住所から判断すると先方の誤入力で塾名が「学習塾」で登録されていました。これは大変なことになったと、修正依頼をかけるために助成事業の本部に何度も連絡をしましたがつながりませんでした。30分以上待てども待てども繋がらずの状況でした。
取り急ぎ塾生の保護者様にアプリで連絡をと思っていたところ、塾名の修正がされ「学塾」と表記されました。おそらく学塾の保護者様が本部に連絡をいただいたのではないかと察しています。
本当に助かりました。ありがとうございました。どなたかわからないため、この場をお借りして御礼申し上げます。

○公立中学生 テスト前学習会の申込みについて

テスト前学習会の申込みはアプリのアンケートから行っていただきます。
きょうだいの場合は生徒を切り替えていただき、それぞれでお申し込みをお願いします。

☆小学生☆

○読解について

国語に限らず算数の文章題でも問題文を正確に読むことができていないため、設問に答えられないということがあります。自宅で宿題をするときには、一度問題文を声に出して読んでみましょう。意味が解らない言葉や、つまってしまうところはその都度立ち止まって確認してください。

国語の読解は、本文の内容を正確に理解した上で設問に答えることが基本です。

その上で、接続詞のあとに注目できるか、書き抜き問題ではどこに着目するかといったテクニックを学ぶと、答えられる問題が増えていきます。

日常生活でも知らない言葉が出てくる度に意味を確認するなど、語彙を増やすことで理解できることが増えていきます。

YouTube や Tik Tok などの動画に触れる時間が多い現代の子ども達には、意図的に活字に触れる機会を作っていく必要があります。学校の授業で教科書を読む時間だけが、活字に触れる機会だという子どもたちが多い時代だからこそ、保護者様の考え方や方針によって国語力にも差があらわれます。

活字に触れる機会を大切に思い、お子様に時間を作ってあげてください。

☆中学受験生☆

初めて講習会に参加した 5 年生(中学受験)にとって 4 コマ続けたの授業は大変だったと思います。それでも頑張って最後までやり切ることができました。大切なのは、ここからです。中学受験は自主学習が伴って初めて成果に繋がります。初めての春期講習会をやり切ることができた自分を褒めつつ、習ったことがもう一度自分でできるかを自主学習で取り組むようにして欲しいです。

具体的にはテキストで解いた問題のやり直しです。反復練習をしてください。

土曜日の自習教室へはできる限り来るようにしましょう。

授業形式にすると取り組むことが固定化されるため授業にはしていません。自習教室という形にすることで、それぞれに必要なことを学ぶことができます。

自宅学習では知識問題(漢字・ことば・理科の用語を覚えるなど)、塾の自習教室では考える問題、と学習の方向性を決めて取り組むようにすればさらに効率が上がるのではないのでしょうか。

また、6 月以降は各学校でオープンキャンパスや合同説明会が実施されます。受験する可能性がある学校はできる限り参加しましょう。学校によっては申し込み状況・受付順を見ているところもあります。

○模試について(小学 6 年生・5 年生)

第 2 回 五ツ木模試 5 月 24 日(日)

中学受験の五ツ木・駿々堂模試は保護者様にお申し込みをしていただく形になります。

その際に塾名を「学塾」で登録していただきますようお願いいたします。

○入試イベントのご案内

大阪私立中学フェア 4月29日(水・祝) 10時～16時30分 会場 大阪府立国際会議場

☆中学生☆

○中学1年生

中学校に進学されたみなさん。最初の1ヶ月はどうでしたか？緊張することが多く精神的に疲れることもあったでしょう。よく頑張りましたね。

さて、小学生から中学生に変わる上で一番違うと思われることは何でしょうか。

それは規則(ルール)が増えるということです。自分がやりたいことを自由にするのではなく、決められたことを正しく・正確にできるかどうか求められることになります。

規則が増えると、窮屈で、面白くないと思うでしょうが、社会人に近づくための練習だと考えましょう。

そのことを理解することなく、小学生の延長で中学校生活を過ごす途端に学校の学習についていくことが難しくなります。

①「物事を理解し、覚えなければいけないことは確実に覚える」

②「速く正確に解けるようにしっかり練習をする」

③「練習をするための時間を確保し習慣化する」

この3つが中学校の学習を定着させるうえで大切なことです。

5月には新学年最初の定期テストが実施されます。全員に良いスタートを切ってもらいたいです。

4月11日(土)のテスト対策説明会で伝えたこと。

「テストの2週間前からはテスト勉強を生活の中心に据えて取り組む」

まずは学校のワークから進めて下さい。

○中学2年生

ミニテストを開始して1ヶ月半が過ぎました。提出率は100%ではありませんが、ほとんどの人がきちんと実行しています。今回はその次の話です。間違えた問題のやり直しはできていますか？

多くの方が返却されたプリントを見て、そのまま鞆にしまっているように見えます。取り組みの成果を上げるため間違い直しは必ずしてください。答えが合わない場合は質問してください。

間違い直しをするかしないかで定着度は大きく変わります。

この学年から入試の制度が変わります。これからの検討事項として入試対策の前倒しがあります。

現在は3年生になる前の春休みから講習会を必須受講として、本格的な受験対策のスタートとしています。

これを早めていくことが必要なかどうか、4月末の学塾の講師会議でも議題として考えていく予定です。学区制が廃止されたときやC問題が導入されたときも入試が安定するまでの数年は読めないことが多く大変でした。おそらく今回の変更もそうなると思います。

中学2年生のみなさんができることは、できる限り教科内容の積み残しが無いように日々の勉強を頑張ることです。

その一環として日々の学塾の授業や宿題、ミニテストをしっかりと取り組んで下さい。

☆中学3年生☆(14期生)

受験を終えた先輩からのメッセージを読んで、受験勉強の参考にして下さい。

(原文のままです。個人名はわからないように伏せています。)

①初めての塾長講座の時に今から受験生になるんだなと自覚してから1年間、今までにないぐらいに勉強してきました。前期のときテストの点が全然伸びなくて勉強量がたりないのか不安だった時に塾長が前期のMVPに選んでくれて、自分の努力はまちがっていなかったんだなって思えてとても嬉しかったです。〇〇とどっちが先に塾にいけるか勝負したり、休み時間にみんな喋ったり、仲の良いみんなと塾長のサポートがあったおかげで夏期講習や冬期講習、自習・朝学 全てのことを頑張れたと思います。勉強はあまり好きじゃなかったからこの一年本当にしんどかったし辛いこともありました。でもそれ以上に目の自分じゃ絶対とれなかった点数をとれたり、五ツ木で良い結果を残せたり嬉しいこともめっちゃありました。多分この一年は家と同じぐらいかそれ以上の時間を学塾で過ごしてきたのでたくさんのご褒美をいただきました。

②「受験」という言葉を聞くと、とても重みがあると感じます。「受験生」に自分になるということが3年生になってからも信じられませんでした。何から始めればいいのか、どのような対策をしたらいいのかなどさっぱりわからず不安を抱えていました。

元々私は継続できない人間で勉強を毎日しようと自分で決めても5日も続けられないのです。

しかし、塾の自習室や図書館を利用して長い時間できるようになりました。自分の性質を知っていくことで自分の課題が見つかり、自分と徐々に向き合っていました。といっても実力テストの結果が伸びず、悩み家で泣いたことがあります。その時は自分を卑下して自暴自棄になりました。

そんな時に学んだことがあります。それは前向きに捉えることです。自分を責めるのではなく自分を認めることで心が落ち着き、次の段階に切り替えられます。

他にも先生方や友達からの言葉はとても私の励みになりました。前向きに捉えることで自分のことも好きになれ、以前よりも自信ができました。公立受験では内申点が大きく関わります。

だから1年生の頃からなまけずに頑張ってきたことを褒めたいです。

勉強を「受験期間」だけに留まらず少しずつ何かしら勉強を続けていきたいです。

受験を通して私が学んだことは「継続・自分の大切さ」です。

○中3 第3回 塾長講座について

第3回は2026年5月23日(土)13時30分～19時00分です。

○堀江中 修学旅行の振替授業について

6月16日(火)～18日(木)で修学旅行が予定されています。

驚いたことに、この翌週が期末テストです。つまり水曜日・木曜日に授業に来ている人は6月10日(水)・11日(木)の授業がテスト前最終の授業になります。

中間テストが終わり、期末テストまで3回の授業しかありません。

そのため、修学旅行期間に欠席する分の授業は前倒しで行います。

5月30日(土)・6月6日(土)を使い、振替授業を行います。

部活動や課外活動、個々の学習状況など、それぞれの事情を考えて日時の提案をさせていただきます。

例年、修学旅行から帰ってくる日に授業がある生徒は欠席せずに塾で授業を受けるという人が9割ほどになります。今年度も最終日に授業がある方には通塾の可否をお聞きした上で対応をさせていただければと存じます。

○模試について

第1回 五ツ木模試 5月17日(日) 希望者のみ受験

○高校1年生のみなさんへ

毎年この時期に、高校1年生のみなさんにお伝えしていることがあります。それは、「最初が肝心」ということです。特に初回の中間テストです。進学先の学校には学力に近い人が集まります。そのため、自分の努力次第で上位にもなれますが、その反対もあります。最初に良いスタートを切ることができると、その後の学習もスムーズに進みやすくなります。ぜひ最初の中間テストは本気で取り組んでください。それが3年間の学校生活を左右するといっても言い過ぎではありません。

☆大学受験生☆

大学受験生を対象に手帳をお渡しします。毎週最初の通塾時に先週1週間の学習内容を記録して、塾長に提出してください。塾で受講している科目以外の学習の進捗を把握するためのものです。これまでの先輩が使っていた手帳をお見せしますので、使用の参考にしてください。先月からの繰り返しになりますが、大学受験の対策は授業だけで成立するものではありません。自主学習をいかに継続的に質の高いものにするかが合否の分かれ目になります。最終的には、志望校に合格できる知識を身につけて試験に臨まなければいけませんが、当面の目標は深い知識でなくても一通り学習すべきことを網羅することです。

～～2025 年度 学塾入試 全結果～
48 校受験 44 校合格



武庫川女子大 食物栄養学部 食物栄養科
京都女子大 家政学部 食物栄養科
近畿大学 理工学部理学科物理学コース
東邦大学 理学部 物理学科
桃山学院大 マネジメント学部

生野高校 文理
住吉高校 国際文化
清水谷高校
東高校 普通
市岡高校
桜宮高校
港高校

港南造形高校
成城高校 エンパワーメント
大塚高校 体育

桃山学院 文理コース(併願)
上宮高校 パワーコース(併願)
近畿大学附属高校 英語特化コース(併願)
近畿大学附属高校 特進Ⅱ 2名(専願)
常翔学園高校 特進(併願)
浪速高校 I類(併願)
浪速高校 II類(専願)
清風高校 文理コース(専願)
帝塚山学院高校 ヴェルジェコース美術専攻(併願)
東海大大阪仰星高校 総合進学コース(専願)
関西大学北陽高校 進学アスリートコース(専願)
大阪学院高校 スポーツ科学コース(併願)
大阪学院高校 普通コース(併願)
興國高校 アスリートアドバンスコース 2名(併願)
興國高校 アカデミアコース(併願)

大阪薫英女学院高校 普通科 スポーツ特技コース(専願)
明浄学院高校 キャリアコース(併願)
偕星学園高校 探求コース(併願)

関西大学第一中学 2名
関西大学北陽中学
近畿大学附属中学 英数アドバンス
近畿大学付属中学 英数プログレス
桃山学院中学 進学コース
大阪立命館中学 Aβコース 2名

私立高校無償化により、公立高校の志願者が減り、私立高校への進学者が増えているというような報道が多くあります。私はこの報道に少し違和感を覚えています。実際に学塾の13期生の塾生の半分は公立高校に進学します。

公立高校の定員割れが報道されていますが(126校ある公立高校のうち、55校が定員割れとなりました。募集定員数は昨年度よりも1,100名以上減少しています。)、実は私立高校も多くの高校が定員割れ状態です。公立・私立に関係なく「人気がある学校には人が集まり、そうでない学校には人は集まってない」ということです。それが実際だと思います。

2026年度 新年度 塾生募集について

【高校生】	募集終了
【高校受験 中3】	募集終了
【高校受験 中2】	募集終了(キャンセル待ち2名)
【高校受験 中1】	若干名
【中学受験 小6】	募集終了
【中学受験 小5】	募集終了
【非受験 小学生】	募集停止中(キャンセル待ち1名)

* 高校生、高校受験 中3・中2、中学受験 小6・小5はキャンセル待ちの受付も実施しません。
非受験の小学生はキャンセル待ちの方に案内ができれば、募集を再開します。

学塾【URL】 <https://gakujyuku.com>

【FACEBOOK】 <https://www.facebook.com/gakujyuku>

【X】 <https://x.com/gakujyukuhorie>

【Instagram】 <https://www.instagram.com/gakujyuku/>